

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関係省庁	国土交通省
名称	仙台空港ビル株式会社
所在地	宮城県名取市
代表者	いとう かつひこ 代表取締役社長 伊藤 克彦
功績の概要	同社は、平成23年3月に発生した東日本大震災における大津波発生時において、旅客ターミナルビル内に地元の避難住民や航空旅客等を受け入れ、安全な場所への避難誘導、人命救助を行い、人的被害の軽減に努めるとともに、避難者に食糧や飲料水等を提供し、その後6日間避難所としての機能を果たし、避難者の生命並びに身体の保護に尽力するなど、被害の軽減及び被災者支援に多大な貢献をした。

関係省庁	国土交通省
名称	第二管区東北地方太平洋沖地震災害対策本部
所在地	宮城県塩釜市
代表者	ときえだ しゅんじろう 本部長 時枝 俊次郎
功績の概要	同本部は、平成23年3月に発生した東日本大震災に際し、本部庁舎が被災し、ライフラインが完全に途絶、唯一非常用発電機の電力のみという状況において、直ちに管内全部署等に対し警戒配備を、津波警報受報後には非常配備を発令、即応体制を敷くと同時に災害対策本部を設置、八戸、釜石、宮城、福島各海上保安部にはそれぞれ現地対策本部を設置し、二管区所属船艇・航空機及び全庁的な支援のもと、全国から派遣された船艇・航空機の全体調整・運用を行い、海上部及び陸上部においての人命救助及び行方不明者捜索、被災住民への支援、緊急支援物資輸送路確保のための航路啓開、航路標識の復旧、漂流船舶の曳航救助等の震災対応業務を実施し、各被災地において、海上保安庁の総力を挙げ捜索救助活動を展開、座礁船舶や津波による孤立者等349人の人命救助を行うなど人命の安全確保及び被災者支援に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	社団法人 日本埋立浚渫協会
所 在 地	東京都港区
代 表 者	むらしげ よしお 会 長 村 重 芳 雄
功 績 の 概 要	<p>同協会は、平成23年3月に発生した東日本大震災の際、発災後1時間後に災害対策本部を設置し、地方支部と地方整備局が締結している災害応急対策協定に基づき、会員各社に対して支援要請を実施し体制を整え、断続的に津波警報が発令される中で、3月14日には被災港湾に作業船等の資機材を投入し、航路啓開及び施設の応急復旧に着手した。この結果、発災後2週間以内に東北太平洋側の主要港湾の暫定利用が可能となり、5月までに航路水深の全面確保が完了した。これによって速やかな緊急物資輸送が可能となったばかりでなく、その後の地域の復旧・復興が本格化するなど被害の軽減や地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	日本港湾空港建設協会連合会
所 在 地	東京都港区
代 表 者	かわしま やすひろ 会 長 川 嶋 康 宏
功 績 の 概 要	<p>同連合会は、平成23年3月に発生した東日本大震災の際、発生直後より、地方支部と地方整備局が締結している災害協定に基づき、会員企業に協力要請を行い、航路啓開業務に参加するとともに仙台塩釜港仙台港区及び小名浜港の岸壁等の応急復旧を実施し、速やかな緊急物資輸送が可能となったばかりでなく、その後の地域の復旧・復興が本格化するなど被害の軽減や地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	社団法人 日本海上起重技術協会
所 在 地	東京都中央区
代 表 者	よりがみ しげゆき 会 長 寄 神 茂 之
功 績 の 概 要	同協会は、平成23年3月に発生した東日本大震災の際、発災後1時間後に災害対策本部を設置し、地方支部と地方整備局が締結している災害応急対策協定に基づき、会員各社に対して支援要請を実施し体制を整え、断続的に津波警報が発令される中で、3月14日には被災港湾に作業船等の資機材を投入し、航路啓開及び施設の応急復旧に着手した。この結果、発災後2週間以内に東北太平洋側の主要港湾の暫定利用が可能となり、5月までに航路水深の全面確保が完了した。これによって速やかな緊急物資輸送が可能となったばかりでなく、その後の地域の復興・復旧が本格化するなど被害の軽減や地域の復旧・復興に多大な貢献をした。

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	公益社団法人 全日本トラック協会
所 在 地	東京都新宿区
代 表 者	ほしの よしみ 会 長 星 野 良 三
功 績 の 概 要	同協会は、平成23年3月に発生した東日本大震災の際、発災直後から被災地へ物資輸送を実施するため、緊急対策中央本部を設置し、国との連絡調整や傘下会員等との連絡調整を行い、延べ1,927台による緊急輸送物資（食料品:1,898万食、飲料水:460万本、毛布等46万枚）を迅速に実施するなど、被災者支援に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	日本貨物鉄道株式会社
所 在 地	東京都渋谷区
代 表 者	たむら しゅうじ 代表取締役 社 長 田 村 修 二
功 績 の 概 要	<p>同社は、平成23年3月に発生した東日本大震災の際、仙台の製油所や沿岸部の油槽所が被災により、東北地方においてガソリン、灯油などの燃料が不足し、深刻な問題となっていた状況及び東北地区への石油輸送の本来のルートである東北本線の一部区間等も復旧工事に時間を要する状況下、京浜地区の製油所(根岸駅)を出荷地とし日本海側を経由する迂回列車による石油輸送を計画し、関係各社との調整を踏まえ、迅速に運行を開始するなど、被災者支援に多大な貢献をした。</p>

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	公益社団法人 日本バス協会
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者	たかはし みき 会 長 高 橋 幹
功 績 の 概 要	<p>同協会は、平成23年3月に発生した東日本大震災の際、全国のバス事業者に呼びかけた。結果、被災し滅失した事業者に対して乗合62両、貸切33両の合計95両が提供された。</p> <p>また、震災後2カ月間で首都圏-東北地方間の31路線で30万人が輸送されたことなど、バスによる東北新幹線の代替輸送や地域住民の足であるバス路線の復興に全力を挙げた。</p> <p>さらに、原発周辺住民の避難輸送及び警戒区域への住民の一時立ち入りに供するバス車両の確保を行うなど被災者支援及び地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関係省庁	国土交通省
名称	日本通運株式会社
所在地	東京都港区
代表者	わたなべ けんじ 社長 渡邊 健二
功績の概要	<p>同社は、平成23年3月に発生した東日本大震災の際に、被災地までの道路の状況や輸送のための軽油の欠乏という極めて困難な状況の下、国からの緊急物資の輸送申請を受け、災害対策基本法における指定公共機関として災害対策統括本部を設置し、震災発生直後の大混乱の中、被災地へ政府による緊急支援物資及び一般の支援物資の輸送を迅速に実施し、被害の拡大を防止した。</p> <p>また、政府による緊急支援物資輸送以外の支援物資の輸送についても、24時間受付の体制を整え、関係者との調整を迅速に行うなど被災者支援及び地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>

関係省庁	国土交通省
名称	一般社団法人 日本長距離フェリー協会
所在地	東京都千代田区
代表者	すずき おさむ 会長 鈴木 修
功績の概要	<p>同協会は、平成23年3月に発生した東日本大震災の直後から、北海道から東北に向けてフェリーにより災害救助に従事する自衛隊、警察、消防等の車輛や人員の緊急輸送を行った。その後も、自衛隊、警察、消防をはじめ、行政機関や復旧・復興に従事する車輛等の緊急輸送を行い、平成23年9月11日までに計436便、車輛約12,000台、自衛隊員等の人員約45,000名を輸送した。</p> <p>また、九州と関西を結ぶフェリー航路においても、被災地に向かう警察や消防などの車輛や人員を無償で輸送するなど被災者支援及び地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関係省庁	国土交通省
名称	日本内航海運組合総連合会
所在地	東京都千代田区
代表者	うえの たかし 会長 上野 孝
功績の概要	<p>同連合会は、平成23年3月に発生した東日本大震災の直後から、国土交通省と連携を取りながら、RORO船、コンテナ船、ガット船など、緊急海上輸送に対応できる船舶をリストアップし、輸送の要請に対応できる体制を整えた。</p> <p>また、内航タンカーにおいて、震災直後より日本海側の秋田港にガソリンや軽油等の燃料油を輸送し、3月21日には震災後初めて太平洋側の仙台塩竈港への輸送を行い、その後も被災地へ向けて燃料油を輸送した。</p> <p>さらに農林水産省からの要請により、一般貨物船において東北地方向けの家畜飼料の緊急輸送を行うなど被災者支援及び地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>

関係省庁	国土交通省
名称	一般社団法人 日本旅客船協会
所在地	東京都千代田区
代表者	やまざき じゅんいち 会長 山崎 潤一
功績の概要	<p>同協会は、平成23年3月に発生した東日本大震災の直後から、函館から青森に向けて自衛隊員と車輛及び東北電力支援のため北海道電力の高所作業車等の資機材の緊急輸送を行った。そして平成23年3月末までに計29便、自衛隊員約1,500名、車輛約500台、その他作業車等約100台の輸送を行うなどフェリーによる自衛隊等の緊急輸送や地域住民の足である旅客航路の復興に全力を挙げ、被災者支援及び地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	一般社団法人 全国建設業協会
所 在 地	東京都中央区
代 表 者	あさぬま けんいち 会 長 浅 沼 健 一
功 績 の 概 要	<p>同協会は、平成23年3月に発生した東日本大震災直後、極めて短期間(3/12～3/18)に、東北内陸部を縦断する東北道、国道4号から主要沿岸都市へ向かう11のアクセスルートを開通・確保するため、被災者の救援・救助に向かう自衛隊、消防、警察等の緊急車両の通行を可能にする「くしの歯作戦」を、本会会員である、岩手、宮城、福島三県建設業協会の傘下会員企業が昼夜を分かたぬ緊急作業により実施した。</p> <p>また、二次災害も想定される余震と津波警報の鳴る中、自らも被災し、家族を喪いながらも建設業としての社会的責任を果たすため、懸命に瓦礫の撤去、陥没箇所の埋め戻し、路肩の修復作業等を会員企業と作業員が着実に進め、3月14日には14ルート、15日には15ルートの道路を開通し、一週間後の3月18日には97%が通行可能となり、道路復旧は7割が完了した。</p> <p>さらに瓦礫の撤去作業については、遺体を発見することも多く、作業は慎重かつ困難を極めたが、1カ月後の4月10日時点では、迂回路を含む42区間の通行が確保されるという驚異的なスピードで対応するなど、人命の安全確保、被害の軽減及び被災者支援に多大な貢献をした。</p>

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	公益社団法人 日本建築士会連合会
所 在 地	東京都港区
代 表 者	みいしよ きよのり 会 長 三 井 所 清 典
功 績 の 概 要	<p>同連合会は、平成23年3月に発生した東日本大震災により被災した住民の住家屋に対する二次災害防止のための、被災地自治体からの被災建築物応急危険度判定活動の実施要請に迅速に応えられるよう、東北6県及び関東8都県の各建築士会に被害状況の報告を求め、情報収集・実態把握に努めるとともに、広域支援の要請にも対応できるよう被災建築物応急危険度判定士の十分な確保など、当該建築士会に対し出動態勢に万全を期すよう要請した。</p> <p>この結果、延べ2,462名の会員(被災建築物応急危険度判定士資格取得者)により、被災した建物の応急危険度判定活動を実施するとともに、被災した家屋の安全性について住民に的確なアドバイスを並行して行うなど、被災住民の安全確保に万全を期した当該行動は、各自治体及び住民等から高く評価された。</p> <p>また、各建築士会に対し、被災住民に対する無料住宅相談や耐震診断、罹災証明発行などの行政協力について、長期的視野に立ち、引き続き住民等からの要望に応えられるよう体制の維持を図るなど、人命の安全確保、被害の軽減及び被災者支援に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	社団法人 日本建築士事務所協会連合会
所 在 地	東京都中央区
代 表 者	みす くにひろ 会 長 三 栖 邦 博
功 績 の 概 要	<p>同連合会は、東日本大震災発生後直ちに同連合会内に東日本大震災対策本部を設置し、被災地の行政庁からの要請に応えられるための被災建築物に対する応急危険度判定活動、罹災証明調査協力活動、被災住民への建築相談活動への協力要請を会員である都道府県の建築士事務所協会に対し行った。</p> <p>また、特に被害が甚大であった岩手県、宮城県、福島県の各建築士事務所協会(岩手会、宮城会、福島会)に同連合会と共同で「建築復興支援センター」を設置し、被災者の建築相談に対する支援、復興まちづくりや建築行政への協力等を行った。</p> <p>さらに、被災住民からの被災建築物の相談に応えるため、常設の相談所を設置し、被災住民からの相談に対応したこと、建築士事務所の業務として、工学的知見に基づく震災建築物の被災度区分判定技術と復旧技術を習得する必要があるため、建築士事務所の建築士を対象に技術向上に対する支援として講習を実施し、技術の普及に尽力するなど被害の軽減及び被災者支援に多大な貢献をした。</p>

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	NEXCO東日本グループ
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者	東日本高速 ひろせ ひろし 道路(株)代表 取締役社長 廣 瀬 博
功 績 の 概 要	<p>NEXCO東日本グループは、東日本大震災により甚大な損傷を受けた高速道路の復旧作業に24時間体制で昼夜を問わず全力で取り組むとともに、建設中の高速道路を緊急車両等の通行路として開放するなど臨機な対応を図り、震災から約20時間後には緊急交通路を確保した。また、震災から13日後には、ほぼ全線の通行止めを解除するなど、被災地に向かう人や物資等の輸送路を確保した。</p> <p>また、福島第一原発事故により警戒区域に指定された常盤自動車道において、緊急点検・緊急復旧工事を実施し、原発事故復旧作業関係車両の通行を可能にした。</p> <p>さらに警戒区域以外の供用区間においても、原発事故復旧作業に必要な車両制限令を大幅に超える大型特殊車両の高速道路通行に協力するなど被害の軽減及び地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	社団法人 住宅生産団体連合会
所 在 地	東京都港区
代 表 者	ひぐち たけお 会 長 樋 口 武 男
功 績 の 概 要	<p>同連合会は、平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震に際し、発生直後の同月14日に会長を本部長とする「東北地方太平洋沖地震緊急対策本部」を設置し、災害時における初動対応の重要性を提唱するとともに、同連合会加盟団体及び会員企業等の協力を得て、震災状況の的確な把握に努めるとともに、未曾有の震災から早期復旧に向けた具体策の検討に着手した。その直後に国土交通大臣の要請を受けて、直ちに同連合会は、加盟団体の司令塔として加盟団体及び会員企業等の協力を得て、すでに設置されている緊急対策本部の下に「応急仮設住宅を担当する部門」並びに「被災住宅の修繕等を支援する部門」を設置し、被災者の住まいの確保に向け応急仮設住宅の建設並びに住宅の修繕等の相談に全力で取り組むなど被災者支援及び地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	独立行政法人 海上災害防止センター
所 在 地	神奈川県横浜市
代 表 者	ふがみ えいいち 理 事 長 富 賀 見 栄 一
功 績 の 概 要	<p>同センターは、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響によりコスモ石油株式会社千葉製油所(以下「コスモ石油」という。)のLPGタンクが爆発炎上し、同製油所内で火災が発生した際、テレビ報道によりコスモ石油のLPGタンク爆発炎上を認知し、出動要請を受けることなく、所属の消防船をコスモ石油全面海域へ向かわせるとともに、石油・液状ガス等危険物消火のスペシャリストである同センター職員を現場に派遣し、千葉海上保安部及び公設消防機関等と密接に連携のうえ、海上からの消火活動を迅速かつ的確に実施し、延焼の拡大防止に努め、これを消火鎮圧するとともに、事業者等に対して専門的見地を提供のうえ、消火戦術の提案、消火活動指導等を実施した。</p> <p>また、千葉港において、同火災によって海上に流出した大量のアスファルトから生じた海上浮流油の除去作業等を実施するとともに、東日本大震災で陸上油貯蔵施設等が被害を受けた仙台塩釜港においても同様の活動を実施するなど人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	第三管区海上保安本部千葉海上保安部
所 在 地	千葉県千葉市
代 表 者	こじま りょうじ 部 長 小 島 良 二
功 績 の 概 要	<p>同保安部は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、コスモ石油株式会社千葉製油所(以下「コスモ石油」という。)のLPGタンクが爆発炎上し、同製油所内で火災が発生した際、海上災害防止センター及び公設消防機関等と密接に連携のうえ、火災消火活動及びアスファルト流出対応のオペレーション業務を実施し、所属巡視船艇等を指揮し、海上からの消火活動を迅速的確に実施することにより、延焼の拡大防止に努め、これを消火、鎮圧した。</p> <p>また、爆発により飛散したタンク破片等による通航船被害の未然防止を図るとともに、海上に流出した大量のアスファルトの状況を迅速的確に把握し、防除活動に係る指導、調整に尽力するなど、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	独立行政法人 海技教育機構
所 在 地	静岡県静岡市
代 表 者	すきから よしとし 理 事 長 鋤 柄 好 利
功 績 の 概 要	<p>同機構は、平成23年3月に発生した東日本大震災に際し、宮古海上技術短期大学校を遺体安置所として提供を申し出るとともに、被災者の避難先として提供した。</p> <p>また、航海訓練所練習船「銀河丸」の救援物資の輸送及び被災者等への支援に際し、陸上での受入れ支援を行うなど被災者支援及び地域の復旧・復興に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【東日本大震災における防災活動】

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	第一中央船舶株式会社「硯海丸」乗組員一同
所 在 地	大阪府大阪市
代 表 者	ひらの まさとし 社 長 平 野 正 俊
功 績 の 概 要	<p>同社は、平成23年3月に発生した東日本大震災の際、大船渡港大船渡野島棧橋に着棧中の第一中央船舶株式会社所有「硯海丸」が、6名の乗組員により緊急離棧、港内投錨後、繰り返される大津波と走錨(錨を引きずったまま船体が流される状態)という危険な状態を船長のリーダーシップと卓抜した操船技術、加えて乗組員個々の勇気をもった行動で乗り切るとともに翌日未明同港で座礁したロシア船から救命ゴムボートで脱出し、救助を求めてきたロシア人乗組員13人を收容した。のちに残り2人を收容、全乗組員15人の安全を確保、7日間にわたり保護し、18日無事帰国の途につかせた。</p> <p>避難者の生命並びに身体の保護に尽力するなど、人命の安全確保に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【平成22年7月、8月豪雨における消防団の災害出動】

関係省庁	国土交通省
名称	青木村消防団
所在地	長野県小県郡青木村
代表者	さとう たかし 団 長 佐 藤 敬
功 績 の 概 要	同消防団は、平成22年7月に長野県青木村を襲った局地豪雨に際し、3日間にわたり、延べ290名が出動し、水防活動、住民の避難誘導、人命救助活動等に従事した。 特に、道路が土石流で埋没する中、夜を徹して活動を行い、結果、一名の人的被害も出さず、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。

関係省庁	国土交通省
名称	飯田市消防団
所在地	長野県飯田市
代表者	しみず まさひこ 団 長 清 水 政 彦
功 績 の 概 要	同消防団は、平成22年7月に長野県を襲った集中豪雨に際し、3日間にわたり、延べ190名が出動し、水防活動、危険箇所での警戒等に従事した。 特に主要幹線道路が土石流で分断され集落が孤立する中で、限られた人員で土嚢積み等の水防活動を展開し、結果、一名の人的被害も出さず、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【平成22年7月、8月豪雨における消防団の災害出動】

関係省庁	国土交通省
名称	岩手町消防団
所在地	岩手県岩手郡岩手町
代表者	はやさか しんいち 団 長 早 坂 信 一
功 績 の 概 要	同消防団は、平成22年7月に岩手県北部を襲った集中豪雨に際し、143名が出動し、水防活動、住民の避難誘導、人命救助活動等に従事した。 激しい雨が降り続く状況の下、夜を徹して活動を行い、結果、一名の人的被害も出さず、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。

関係省庁	国土交通省
名称	上田市消防団
所在地	長野県上田市
代表者	わだ みちあき 団 長 和 田 道 明
功 績 の 概 要	同消防団は、平成22年8月長野県上田市を襲った局地豪雨災害に際し、543名が出動し、水防活動を行い、また、被害が大きかった箇所の災害処理活動を行った。 被害が上田市街の広範囲にわたり、夜間で活動が困難を極める中で水防活動を行い、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【平成23年新潟・福島豪雨における消防団の災害出動】

関係省庁	国土交通省
名称	三条市消防団
所在地	新潟県三条市
代表者	はせがわ さくお 団 長 長 谷 川 作 雄
功 績 の 概 要	同消防団は、平成23年7月27日から30日にかけて発生した新潟県・福島県を襲った豪雨災害に際し、3日間にわたり延べ2,161名が出動し水防活動を行った。 また、住民の避難誘導、人命救助活動等を行い、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。

関係省庁	国土交通省
名称	十日町市消防団
所在地	新潟県十日町市
代表者	とみい としあき 団 長 富 井 利 明
功 績 の 概 要	同消防団は、平成23年7月27日から30日にかけて発生した新潟県・福島県を襲った豪雨災害に際し、延べ2,003名が出動し水防活動を行った。 また、住民の避難誘導、河川の警戒活動等を行い、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【平成23年新潟・福島豪雨における消防団の災害出動】

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	魚沼市消防団
所 在 地	新潟県魚沼市
代 表 者	いからし ひでみ 団 長 五 十 嵐 秀 美
功 績 の 概 要	同消防団は、平成23年7月27日から30日にかけて発生した新潟県・福島県を襲った豪雨災害に際し、3日間にわたり延べ1,114名が出動し水防活動を行った。 また、住民の避難誘導等を行い、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

【平成23年台風第12号における消防団の災害出動】

関係省庁	国土交通省
名称	熊野市消防団
所在地	三重県熊野市
代表者	いわがみ ひでお 団 長 岩 上 日 出 男
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成23年8月末から9月にかけて発生した台風第12号の豪雨災害に際し、7日間にわたり延べ727名が出動し水防活動を行った。</p> <p>また、住民の避難誘導、人命救助活動等を行い、結果、一名の人的被害も出さず、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。</p>